

印刷カード通信

No. 45

編集・発行 国立国会図書館

1978.1.20



「日本目録規則 新版 予備版」(新NCR)の適用に際して加えるおもな補正と、適用にともなう記載事項の変更について(お知らせ)

当館では、昭和53年1月1日から整理する和漢書に、新NCRを適用することになりました。従来も、NCRの適用に際しては、当館の実状にあわせて、これに適宜補正を加えていました。今回の新NCR適用にあたって加えた補正は、その主要なものを、この紙面を用いてお知らせいたします。

また今回印刷カードの記載事項に加えた変更のおもなものも、同時にお知らせいたしますが、このなかには、ローマ字の標目指示のように、当分の間の暫定措置であるものも含まれています。

新NCRは記述ユニット・カード方式をとっているため、今後の記入はすべて書名から始まります。その記載位置とか体裁は、例示のようにします。つづきカードの様式は変更せず当分は標目指示も1枚目に記載します。著者が複数のときは、2まで記載し、3以上のときは最初のひとつだけをあげ、他は省略して〔ほか〕でこれを示します。出版年は西暦紀年のみとし、発行月を付記します。「形態に関する事項」では、本文と通しページになっていない図版のみ、そのページ数もしくは枚数をページ数のあとに示すこととなります。今迄対照事項で示した、図、地図、肖像などは、特に重要なもののみ説明をつけて注記します。

内容細目の形、標目指示の形は例示のようになります。団体名標目における副標目形は、当館の目録における既存の標目との関連があるとき、当分の間従来の形のままとするものもあります。以下新NCRの条項順に当館で加えたおもな補正をお知らせします。

- 2.1.2.1 多巻ものの全巻を同時に目録するときは、一括記入することがあります。
- 2.1.2.3 その図書以外から得た情報のみ、角がっこに入れて記載します。

2.1.3 (7) 書籍コード、装丁は記載しません。

2.1.4.5 複製本を、その原本のみにもとづいて記載するときは、よりどころとする情報源の優先順位にはこだわらないこととします。

2.2.1.1 いわゆる冠称の取扱いは、p. 6に収録する「書名の取扱基準」（「印刷カード通信」No. 2に掲載した「書名の冠称の暫定取扱基準」を改訂したもの）によります。また書名の冒頭にある「続」等の取扱いについては、文字の大小にかかわらず、それが巻次などを表わすと判断される場合は、巻次の位置に記載します。

続日本記

冬の華 続

冬の華 第3

2.2.1.2 一番妥当と判断されるものをとります。

2.2.1.5 例を以下の形とします。

播州平野・風知草 宮本百合子著

2.2.3.2 “……年版”となっても、内容は改訂版であるものは版次として扱います。原則として版次は各巻書名のあとにつけず、多巻もの全体の書名のあとにつけます。

「注」の別法はとりません。

2.2.4.1 著作の種類を示す語は、すべて後に付して記載します。これらの語は、表示された形をそのまま用いますが、必要あれば形を統一し、まぎらわしい表示になりそうなきは、句読点を付記します。

外国人名のイニシャルにはピリオドをつけます。著者表示に記載しなかった著者などとその情報源は、標目指示をするもののみ注記します。図書以外の他の情報源から著者に関する情報をえたときでも、その情報源は注記しません。

2.2.4.1 (注1) 執筆者や編者でも、著者表示に入れたものは原則として標目指示を行い、注記したものは標目指示をしません。訳者であると同時に監訳者である場合と、標題紙にある解説者も著者表示に入れます。

2.2.4.1 (注3) 書名または副書名にその著者名を含むときは、著者表示を記載しないことがあります。

2.4.1.1 出版地としての町村には、原則として都道府県名を丸がっこに入れて付記します。

2.4.2.4 出版者がある場合の発売者は、その名称の冒頭部が出版者名の冒頭部と一致しない場合のみ、これを注記します。

2.4.3.1 西暦紀年の出版年のあとに、ピリオドを付して発行月を付記します。古書等については、従来通りとします。

2.4.3.2 出版年不明の場合でも、序文、あとがき等に表示された年は記載しないこととしたので、以下の形は採用しません。

1976序

1977あとがき

- 2.5.1.1 (注1) ローマ数字は、区別のため特に必要なとき、そのままの形を記載します。
- 2.5.1.2 ページ付が2種以上に分かれた図書は、前づけを除き3種までのとき、各ページ付ごとにコンマ(,)で区切って記載します。ページ付のない部分が含まれているとき、その部分のページ数をかぞえて記載することはしません。
- 2.5.1.3 ページ付のない図書は、「1冊(頁付なし)」と記載します。
- 2.5.1.5 「図版」のページ数もしくは枚数は、かぞえた場合でも角がっこに入れません。
- 2.6.1 叢書名を図書以外から補ったときは(〔叢書名〕)の形とします。
- 2.6.3 副叢書名は、必要あれば叢書名につづけて記載します。
- 2.7.3.1 (2) 日本語と外国語の書名があるときは、表紙と背が外国語書名のときのみ、外国語の書名を注記します。
- 2.7.3.1 (4) 翻訳書は、原書名を注記する方向で検討しています。
- 2.7.3.1 (5) 別冊の形の続編、補遺、索引の書名が、正編または本編の書名と異なるときは、正編もしくは本編の書名が続編などに明示されている場合のみ、これを注記します。
- 2.7.3.2 監修者、校閲者で標題紙に表示されているものは注記します。(標題紙等にある解説者は著者表示に入れます。)
- 情報源によって著者の表示が異なるとき<2.7.3.2(1)>と図書中に著者の表示がない場合<2.7.3.2(2)>の注記はしません。
- 2.7.4.1 翻訳書の原書の版次は例示のような形で注記します。
- 原著第3版の翻訳
- 2.7.5.2 印刷、複写の種類は、「謄写版」(手書きの場合のみ)と「電子複写」「青写真」「リキッド式複写」のみ注記します。
- 2.7.6.1 ページ数に関しては、例示のようなものを注記します。
- 左右同一頁付
- 2.7.6.2 張り込みの図は、その枚数を示して注記します。
- 2.7.6.3 大きさについては、次のような注記をします。
- 折りたたみ 24×15cm
- 2.7.6.4 付属資料の記載例は、「付属資料(レコード5枚):第15回…」の形とします。
- 2.7.7.2 叢書の編者は、原則として団体のみを注記します。
- 2.7.8.1 (注) 図書に26以上の著作が含まれているときは、最初の著作の書名等を記載し、他は「ほか〇〇編」として省略します。
- 2.7.8.3 書誌等については、以下の例によっています。

① 本文中にある場合

参考文献: p〇〇〇~〇〇〇

参考文献：p〇〇〇

〇〇〇の文献：p〇〇〇～〇〇〇

ヘーゲルの略年譜：p 2 2 9～2 3 3

書誌 伊藤秀雄編：p 3 0 0～3 3 1

② 本文中で各章の終りに文献をあげている場合

各章末：参考文献

各章末：参考

③ 本文とは別の、独立頁である場合

巻末：参考文献（〇〇p）

巻末：ヒルファディング重要著作目録・参考文献

付：参考文献（〇p）

④ 前項に該当しない場合

付：参考文献

注 「〇〇〇に関する文献」等用語はその本の記載通りとする。

瓦窯跡関係主要文献目録：p 2 3 1～2 4 3

長浜政寿先生略歴・著作目録：p 4 1 9～4 2 6

野中氏系図・兼山時代年表：p 2 3 3～2 4 7

2.8 書籍コード、装丁は記載しません。

2.8.3 定価はカード右下すみ、印刷カード番号の上に記載します。

3.2.1.2 注記の書名、内容細目の書名は原則として標目としません。

3.2.2.1 <2.2.4.1（注3）>にもとづいて著者表示を省略した場合、書名もしくは副書名中の個人もしくは団体著者も著者標目とします。

3.2.2.2 (3) 出版事項中の団体（商業出版社は除く）も必要に応じて標目とすることがあります。

3.2.2.3 (2) <(3)を削除し、必要に応じて標目とするものなかに以下のものを加えます>
監修者、監訳者、校閲者、編者

3.3.2.1.1 (4) 改姓改名した著者の新旧両方の姓を標目にする場合は、新設標目から実施します。

3.3.2.1.2 同一著者が著作の内容によって2以上の名称を使い分けているときは、それぞれの形を標目にしますが、これは今後目録する図書に該当する場合があったときから適用し、一方参照を相互参照にかえます。

3.3.2.1.3 同名異人は、生年または没年、もしくは世系で区別します。

3.3.2.2.1 (3) 日本の中央官庁の内部部局、東京都などについては局までとり、局がないときは部までとります。また当分の間、副標目形にします。

3.3.2.2.3 (4) 在外公館は、例示の形を標目とします。

日本大使館（在アメリカ合衆国）

アメリカ合衆国大使館（在日本）

日本領事館（在スラバヤ）

3.4.1 (4) 「国立国会図書館分類表」分類記号の一連番号を「○」でかこみ、「日本十進分類法」分類記号を、㊦を冠して記載します。

3.4.3.1 書名標目に巻次は付加しません。

3.4.3.2 外国人名は現行通り原綴形とし、人名に用いる句読法も従来通りとします。

3.4.3.2.2 (4) 中国、朝鮮人名は漢字形を日本語読みにします。

書名の取扱基準

書名の前にあって、小さな文字の1行書きか、割書きで書名を限定修飾し、または書名に関連して表示されているもので書名の冠称と呼ばれている部分は、次のように扱う。

(1) 著者を表示するものは、著者表示の位置に記載する。

- (例) シギア 有機機器分析入門 小松芳郎, 土田卓共訳
ストルテン
→有機機器分析入門 シギア, ストルテン [共著] 小松芳郎, 土田卓共訳

(2) 版次・版種を表示するものは、版表示の位置に記載する。

- (例) 新訂 国史大系→国史大系 新訂増補
増補
縮約 日本文学大辞典→日本文学大辞典 縮約
カラー版 風俗の歴史→風俗の歴史 カラー版
◎ 愛蔵版, 限定版, 私家版, 特装版等
→注記に書く

(3) 巻次, 回次, 年次を表示するものは巻次の位置へ記載する。

- (例) 続物理の散歩道→物理の散歩道 続
第三 物理の散歩道→物理の散歩道 第3
ただし, 上記の取扱いは継続物に限り, 一回だけのものはそのまま記載する。

- (例) 1975年農業センサス農業就業構造統計報告書
第三次海洋法会議 ニューヨーク夏会期

(4) 叢書名であるのは、叢書注記の位置に記載する。

- (例) 歯科衛生教本 生理 →生理 (歯科衛生士教本)
生 理

(5) 書名を説明または補足する形のもの、副書名として扱い、副書名の位置に記載する。

- (例) 古寺と古城と泉 武蔵野
→武蔵野 古寺と古城と泉
食品コンビナートのバイオニア
昭和産業
→昭和産業 食品コンビナートのバイオニア

(6) 副書名としては扱わないが、つぎに挙げるものは副書名に準じて扱い、副書名の位置に記載する。

a 文学作品, 美術作品等の作品形式を表わすもの。ただし必要ないと認めた場合は記載しなくてもよい。

小説, 歌集, 句集, 詩集, 随筆, 画集, 写真集
例外的に小説, 随筆等を書名の頭に付することもある。

- (例) 小説三井物産, 随筆私本太平記

b 著作の形式を表わすもの

シンポジウム, ルポルタージュ, 共同研究, 遺稿集, 写真集等

c 翻訳書, 注釈書, 校注書等の訳・注形式を表わすもの。ただし, 校注, 校訂等の語が著者表示と重なり, 著者表示に記載する場合は省略する。

全訳, 評訳, 校注, 校訂, 対校, 対訳等

d 副書名に準じて扱うものは上記以外に, 次に挙げるようなものがある。

例解式, 大学教科, 条文つき, 問答式, 質疑応答, 判例解説, 文科教養等

e その他副書名に準じて扱うべきもの

- (例) 記念論文集等

松本先生古稀記念
会社法の諸問題

↓

会社法の諸問題 松本先生古稀記念

(7) つぎに挙げるものは副書名として扱わないで、書名の一部として扱い、書名と同じ大ききで記載する。

(必要に応じて冠称を除いた書名からも副出する)

a 出版社を表示するもの

(例) 岩波哲学小辞典→岩波哲学小辞典
角川漢和中辞典→角川漢和中辞典

b 時代、年代、地域を表わすもの

(例) 明治以降本邦主要経済統計
→明治以降本邦主要経済統計
戦後文壇事件史→戦後文壇事件史
20世紀アメリカ社会学の進展
→20世紀アメリカ社会学の進展
ヨーロッパカメラで見る八つの目→ヨーロッパカメラで見る八つの目

(註) 遺跡調査報告の場合○○○所在は注記に書く。

(例) 石川県石川郡白峰村
桑島館跡

↓

注記の位置へ石川県石川郡白峰村所在

c 内容を限定するもの

(例) 経営のためのシステム分析入門
→経営のためのシステム分析入門
学校図書館資料の整理
→学校図書館資料の整理
製糸工場工務実態調査報告書
→製糸工場工務実態調査報告書
心理学における科学と偏見→心理学における科学と偏見

d 書名を明確にするためのもの

(例) 私の見た中南米と欧米の国々
→私の見た中南米と欧米の国々
歴史のふるさと大和→歴史のふるさと大和
おかやま庶民史 目で聞く話→おかやま庶民史目で聞く話

e 内容の程度を表わすもの

(例) 初級フランス語講座→初級フランス語講座
入門法人税→入門法人税
やさしいコンピュータ→やさしいコンピュータ

f 内容の効用を表わすもの

(例) 正しく覚えられるドイツ語入門
→正しく覚えられるドイツ語入門
図説による基本相続税→図説による基本相続税

g 図書の特色、性質等を表わすもの

講座、年譜、年表、図解、図説、口述、定本、体系、最新、新編、概説、総説、参考、評伝、応用、実用

(例) 講座ビッグストアへの道→講座ビッグストアへの道

図説世界文化史大系→図説世界文化史大系

実用ラーメン計算便覧→実用ラーメン計算便覧

新編電気数学→新編電気数学

概説西洋史→概説西洋史

註 「改正健康保険法解説」のように法律の改正は、必ず記載する。

h その他書名の一部分とみなされるもの

(8) (1)～(7)までのいずれにも該当しないものは、一般注記に記載する。

〔例 示〕

(翻 訳 書)

木、その根まで 精神分析と創造 ドミニック・フェルナン

デス著 岩崎力訳

東京 朝日出版社 1977. 6

372p 22 cm

原書名：L'arbre jusqu'aux racine

1. Ki sono ne made a1. Fernandes, Dominique a2. Iwasaki,
Tutomu (1931 生) s1. 芸術心理学 s2. 精神分析 ① K 27
② 701. 4

K 27-15



2500円
国図77-15168

(官庁刊行の継続もの)

最新減価償却資産の耐用年数表 大蔵省主税局税制

第一課技術係編 10 訂版

東京 税務研究会出版局 1977. 6

159p 21 cm

付：耐用年数関係通達集

1. Saisin genka syōkyaku sisan no taiyō nensūhyō ● a1. Ōkura-
syō. syuzeikyoku s1. 耐用年数 s2. 減価償却 ① AZ-367
② DH 533 ③ 328. 679

AZ-367-71



800円
国図77-16361

〔注〕 標目指示の前につけた黒丸は、継続ものの主題目録中における2次排列を、すでに基本記入の標目で排列されているものと一致させるために特に付記したものです。

(多巻もの)

岩波講座日本歴史 21

1/2

東京 岩波書店 1977. 1

370p 22 cm

編集委員：朝尾直弘〔ほか〕

21 近代 8

内容：第二次大戦と日本 今井清一著. 太平洋戦争 由井正臣著. 戦争経済とその崩壊 中村隆英著. 国民動員と抵抗 粟屋憲太郎著. 戦
(つぎのカードにつづく)

1. Iwanami kôza Nihon rekisi s1. 日本一歴史一昭和 ①GB71
②GB531 ㊦ 210. 1

GB71-60



1800円
国図77-6435

(つづきカード)

時下の植民地 鈴木隆史著. 「大東亜共栄圏」の理念と実態 橋川
文三著. 敗戦 藤原彰著.

3/2



国図77-6435

新 設 件 名 標 目

(1977年1月～3月分)

記載方法：件名標目をローマ字表記のABC順に排列し、できれば国立国会図書館分類表およびNDC6版の分類記号を併記いたします。

なお、和漢書にたいして新設した件名標目にはその標目を最初に付与した図書の著者名、書名、出版者名、出版年を付記いたします。

- アミロイドーシス → 類澱粉症
 アププリケ EF 25;594
 宮脇綾子「宮脇綾子作品集」(小椋修、京都書院 昭和50)
- アロエ → ろかい
 ベトナム—歴史—1975 - GE 543;223.3
 島村矩生「解放南ベトナム」(日本放送出版協会 昭和51)
- ビハール人 G 131
 美術(ブラジル) K 211
 ←ブラジル美術
- 防振ゴム PA 435;578.21
 「防振ゴム」(日本鉄道車輛工業会 現代工学社 昭和51)
- 仏教—日本—歴史—昭和時代 HM 85;180.21
 「講座日本近代と仏教6」(国書刊行会 1977)
- ブラジル美術 → 美術(ブラジル)
- 仏像—保存・修復 KB 141;718
 西村公朝「秘仏開眼」(淡交社 昭和51)
- クローン〔Crohn〕病 SC 341;493.4
 厚生省特定疾患潰瘍性大腸炎クローン病調査研究班「厚生省特定疾患潰瘍性大腸炎クローン病調査研究班業績集 昭和50年度」
 (昭和51)
- 脱税 A 366;A 821;DG 111;345.1
 ←租税遁脱
 高田茂登男「国税・検察の黒い霧」(現代評論社 1976)
- 電子計算機と犯罪 A 751;369.12
 ←犯罪と電子計算機;コンピュータ犯罪
 Parker, Donn B. 「コンピュータ犯罪」(秀潤社 1977)
- 動物(聖書) HP 13;193
 別所梅之助「聖書動物考」(有明書房 昭和50)

ドルーズ人 G 131
 銅座 DC 48;DF 6;332.1;337.21
 大田南畝「銅座御用留」(写本 享和1)
 同情 → 共感
 エックス線管 ND 357;549.4
 小泉菊太「わが国におけるX線管の歩み」(ソフテックス映像研究所 昭和51)
 エラスチン RA 78
 豪華版 UE 71:UE 91;UM 37
 ←豪華製本
 豪華製本 → 豪華版
 護身服
 グレコ・ロマン彫刻 KB 45
 肺性心 SC 271;493.2
 前田如矢、藤田一誠「肺性心」(金原出版 1976)
 犯罪と電子計算機 → 電子計算機と犯罪
 はずみ車 NB 31
 ←フライホイール
 変動為替相場 DE 146
 光通信 ND 651;549.9
 末松安晴「光ファイバ通信入門」(オーム社 1976)
 被告 A 781
 フライホイール → はずみ車
 フランス—歴史—1969— GG 341
 フス〔Hus〕派 HP 111
 移動演劇 KD 521;775.5
 笹原茂朱「巡礼記」(日本放送出版協会 1976)
 イギリス—歴史—プランタジネット〔Plantagenets〕王朝時代(1154—1399)
 GG 227
 イギリス—社会—歴史—17世紀 GG 237
 石橋山の戦(1180) GB 176;210.39
 中野敬次郎「石橋山合戦前後」(名著出版 昭和51)
 怪物 KE 178
 Hall, Angus 「ネッシーと雪男」(学習研究社 昭和51)
 会議場 → 会館
 会館 DH 475;KA 326;526.8;688.7

- ←会議場
「E + P 13」(集文社 昭和52)
- 海溝 ME 513;455.8
齊藤行正「日本海溝の謎」(カイガイ出版部 昭和52)
- 潰瘍性大腸炎 SC 341;493.4
厚生省特定疾患潰瘍性大腸炎クローン病調査研究班「厚生省特定疾患潰瘍性大腸炎クローン病調査研究班業績集 昭和50年度」(昭和51)
- 格技 FS 37;KD 975;788;789
←格闘技;闘技
小島貞二「ザ,格闘技」(朝日ソノラマ 昭和51)
- 革命歌 KD 313
格闘技 → 格技
- 官職不両立 A 341
金約款 DE 141
北太平洋地域 GE 481;GH 276
公共団体 (地理区分) A 381;DH 51
コンピュータ犯罪 → 電子計算機と犯罪
- 屈折異常 SC 637;496.132
丸尾敏夫「屈折異常と眼鏡」(医学書院 1976)
- 共同感情 → 共感
共感 H 91;SB 112;141.6;151.9
←同情;共同感情
Scheler,Max Ferdinand「シェーラー著作集 8」(白水社 1977)
- モダンダンス KD 388;766.6
Preston-Dunlop,Valerie Monthland「モダンダンスのシステム」(大修館書店 昭和51)
- モリソン〔Morrison〕号事件(1837) GB 381;210.57
相原良一「天保八年米船モリソン号渡来の研究」(野人社 昭和29)
- 昔話(エスキモー) KT 11;388.73
「世界の民話 11」小沢俊夫編(ぎょうせい 1977)
- ネアンデルタール人 G 45;SA 41;469.2
Solecki,Ralph S.「シャニダール洞窟の謎」(蒼樹書房 1977)
- 二律背反 H 24
ランニング FS 33;782.3
Bowerman,William J.「楽しく走ろうジョギング」(不味堂出版 昭和52)

労働（文学上） KE 185
 ろかい RA 347;RB 194;479.3;627.8
 ←アロエ
 小谷英三「アロエの効用と使い方」（有紀書房 昭和52）
 録音テープ ND 641;UL 581
 類澱粉症 SC 311;493.12
 ←アミロイドーシス
 厚生省特定疾患アミロイドーシス調査研究班「厚生省特定疾患アミロイドーシス調査研究報告書」（昭和51）
 三味 HM 51;181
 「仏教における三味思想」日本仏教学会編（平楽寺書店 1976）
 生体解剖 RA 64;SC 47;SC 61
 脊髄小脳性失調症 → 運動失調症
 失行症 SC 367;493.73
 秋元波留夫「失行症」（東大出版会 1976）
 進学制度 FB 35;376.8
 平湯一仁「進学を考える」（草土文化社 1977）
 疾風怒濤時代 → シュトゥルム・ウント・ドラング
 ジョーグレン〔Sjögren〕症候群 SC 311;493.1
 ←シェーグレン病
 厚生省特定疾患全身性エリテマトーデス・シェーグレン病調査研究班「厚生省特定疾患全身性エリテマトーデス・シェーグレン病調査研究班研究業績」（昭和51）
 租税遁脱 → 脱税
 Sturm und Drang → シュトゥルム・ウント・ドラング
 水産行政（地理区分） A 431;661.1
 水産庁・水産資料館「都道府県の水産行政概要」（1976）
 スカイダイビング FS 43;538.59
 森春樹「大空へ飛び出せ」（時事通信社 1977）
 数詞 KE 81
 シェーグレン病 → ジョーグレン〔Sjögren〕症候群
 植物（聖書） HP 13;193
 別所梅之助「聖書植物考」（有明書房 昭和50）
 シュトゥルム・ウント・ドラング KS 334
 ←Sturm und Drang;疾風怒濤時代
 タールサンド ME 426;PD 271

- たたら DL 366;GD11;384.3;564.9
 黒岩俊郎「たたら」(玉川大学出版部 1976)
- 東学の乱(1894) GE 127
- 闘技 → 格技
- 図書館活動 UL 711;015
 「講座新図書館学6」図書館科学会編(教育出版センター 昭和51)
- 陶磁器—技法 KB 371;751.3
 田村耕一「陶芸の技法」新訂版(雄山閣出版 昭和51)
- 潮間帯 ME 521;454.38
 西平守孝「宮古の潮間帯」(琉大海洋保全研究会 1976)
- 鳥獣害 RB 84;RB 364;615.6;654.8
 ← 獣害
 農林省・農蚕園芸局「イノシシ等獣類による農作物に対する被害調査概要」(農林省・農蚕園芸局植物防疫課 昭和51)
- 運動失調症 SC 367;493.73
 ← 脊髄小脳性失調症
 厚生省特定疾患脊髄小脳変性症調査研究班「厚生省特定疾患脊髄小脳変性症調査研究班研究業績集」(昭和51)
- ワタムシ属 RA 531;RB 361;486.5;654.86
 ← 雪虫
 河野広道「森の昆虫記 1 雪虫篇」(北海道出版企画センター 昭和51)
- 厄年 GD 24;HR 511;148.6;386.5
 金子仁「厄年の科学」(光文社 昭和51)
- ユダヤ人(文学上) KE 185
- 雪虫 → ワタムシ属
- ジギタリス製剤 SD 81;499.1
 齊藤秀哉「臨床医のためのジギタリスの使い方」(新興医学出版社 昭和50)
- 獣害 → 鳥獣害
- 従軍記者 UC 176;070.16
 「日本報道百年史」全日本新聞連盟編(昭和51)

印刷カード利用館との懇談会を開催

昨年10月28日(金)当館6階講堂において、印刷カード利用館との懇談会を開催しました。今までの懇談会は東京近辺および地域毎に開いていましたが、今回は全国的にご参集を求め、総計134館、211名の方々のご出席をいただきました。

懇談会の内容は、昨年9月30日付の文書でご案内したとおり進められましたが、既に予備版の出ている新目録規則を当館が準用するにあたっての印刷カード記載上の変更に関する説明、および本年1月から刊行される、新目録規則による編集の納本週報の説明と、これ等に対する質問が中心でした。印刷カード記載面の変更に関しては、既にお配りした印刷カード通信第44号によってあらかじめお知らせしましたが、本年1月以降当館が整理する資料からこれを適用する予定としています。(ただし、著者、書名の標目の指示は当分の間ローマ字を継続します) なお、適用号数等、詳細については、あらためて通知いたします。

以上について、当日ご出席のなかった向き、その他ご質問を希望される方は、下記にお問あわせ下さい。

○納本週報について—収書部国内図書課編集係(03)581-2331 内416

○印刷カードの記載面について—整理部整理第一課調整係 内538